



幡羅中学校学校便り 4月号

チーム幡羅中

「文武両道」「信頼・責任・協力」
 地域を支え地域が誇る幡羅中学校に
 048-571-0229 令和3年3月31日発行

【学校教育目標】

高く志を抱き心豊かに
 たくましく生きる生徒の育成

【目指す生徒像】

心を磨く生徒
 本気で学ぶ生徒
 体を鍛える生徒

第74回卒業証書授与式が挙行されました。197名の卒業生の皆さん本当におめでとう—この1年間の様々な思いを胸に—



16日、春爛漫の佳き日に3年学年合唱曲「あなたへ」の「白木蓮にもにた、その白い翼でまだ見ぬ世界、未来という果てしない空へ旅立ってゆくのですね」の歌詞そのままに、197名の卒業生が巣立っていきました。新型コロナウイルスの感染防止のため、各家庭1名の保護者の皆様をお迎えし、第74回卒業式を厳粛に挙行することができ、感謝申しあげます。本当におめでとうございました。在校生はリモートで教室から参加し心のこもった式となりました。この卒業生は「文武両道」「時・場・礼」何をとっても、1、2年生の目標となる3年生でした。卒業生は、一人一人、自らの夢や志を目指して、新たな場所で頑張ってください。保護者の皆さん、いつも温かく見守っていただいた地域の皆さん本当にありがとうございました。



3年生の進路決定—夢や志を目指して—

(順不同)

浦和西	1	浦和	1	大宮東	2	大宮	3	伊奈総合	1
鴻巣女子(保)	1	鴻巣	1	熊谷西	14	熊谷	11	熊谷女子	3
熊谷商業	7	熊谷農業	9	熊谷工	9	熊谷(定)	3	群馬高専	2
深谷商業	23	深谷	16	深谷第一	12	松山	1	松山女子	2
本庄	5	寄居城北	2	妻沼	5	進修館	3	大宮中央(通)	2
深谷はばたき	2	不動岡	1	春日部	1	吹上秋桜	4	山梨白根	1
本庄東	10	正智深谷	6	成徳深谷	8	本庄第一	6	成美学園	2
花咲徳栄	2	東京農大二	1	東京農大三	2	昌平	1	N高等学校	1
武蔵越生	2	クラーク記念国際	1	前橋育英	1	鹿島学園	1	屋久島おおぞら	1
レコールパソナ	1	大宮ヒューマンキャンパス	1	家事手伝い	2				

お陰様で、私立、公立高校とも出願、入試、発表を経て、3年生の生徒の進路先が上記のように決定しました。おめでとうございました。コロナ禍の中3年間の学習や部活動、学校行事で、文武両道を買った赤学年は、それぞれの夢や志にあった素晴らしい進路に進んでいきました。これからも伝統ある幡羅中の卒業生として、誇りをもち、それぞれの場所で「夢と志の自分だけの花」を咲かせてください。そしていつの日か、渋沢栄一翁のように、幡羅や深谷、埼玉を支えてくれる人となって、地域に貢献、社会に貢献してくれることを願っています。



実践目標「時・場・礼」

家庭でも実践をお願いします

「時を守る」

「場を清める」

「礼を正す」

深谷の子6つの誓い

一浪沢栄一翁の心を受け継ごう

- 夢に向かって努力
- すすんであいさつ

- 毎日勉強
- くつそろえ

- 体験・挑戦
- 心のこもった言葉



コロナ禍に負けず、元気に自らの志を語る2年生 「立志式」

卒業式の興奮冷めやらぬ17日、令和2年度立志式が1年生生徒が見守る中、厳粛な雰囲気で行われました。立志式は古来から立春の頃、元服にちなんで数え年15歳を祝う行事です。2年生は将来の夢や志、目標を緊張した面持ちでしかし堂々と、自分らしく発表してくれました。浪沢栄一翁の生き方に学ぶ「ふるさと先生」をお招きしての道徳授業をもとに、働くことの意義や自分らしさをみつめなおし、それぞれの夢や志を改めて、考えまとめることができました。1年生も「座右の銘」の掲示物を作成し、それぞれの思いを強くしました。一人一人の思いが詰まった素晴らしい発表ばかりでした。

スポーツ	医療関係	ものづくり	美術	消防警察	教員	保育士	研究職	俳優声優
27	19	5	9	7	9	3	5	2
動物	文学出版	情報ゲーム	栄養料理	服飾美容	鉄道	建築	漁師農家	介護
8	2	6	9	13	2	8	2	1
自動車	テレビ関係	心理専門	サービス	人の役に立つ優しい人周りや社会のために働きたい				
2	2	6	2	28				

地域に1年間の感謝をこめて、サクラソウプロジェクト

70周年から始めたサクラソウプロジェクト、今年度も生活向上委員会が種から育て、民生児童委員の皆様のご協力で、配布する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため各家庭への配布は中止となり残念です。代表して自治会長と民生児童委員の皆様に感謝を込めて贈りました。来年度も幡羅中へのご支援よろしくお願いたします。



卒業式式辞 3年生に向けて

何もかも、いつもと違う中3の1年間。緊急事態宣言を受け、3月からの臨時休校。感染状況が不安で先生達も手探りの4月、始業式後も続く臨時休校と家庭学習そして家庭訪問。あっという間に5月。学総大会、県大会、関東・全国大会は中止になり顧問の先生方も呆然とするしかなかったのです。それでも1、2年生との最初で最後の短い部活動は在校生には忘れられない思い出です。6月に分散登校がはじまった時、先生方は本当にうれしかったことを今も覚えています。ああ、改めて学校は、生徒がいなくては学校ではないと。皆さんも、改めて友達や授業先生との日常の大切さを感じたのではありませんか。夏休みは授業時数を確保するために短縮され、実力テストや進路への道をいやおうなしに進むしかなかった。オリンピックも延期され、いつまでこんな生活が続くだろうと不安やいらだちの中、学期が深まってきました。そんな中でも、何か心に残る行事をと学年の先生方を中心に全校で学年体育祭、学年音楽会を企画しました。内心、校長として感染との闘いに不安で一杯でした。でも、生徒達は制約の多い中、短い練習期間でも、その圧倒的な取組にあっという間にクラスが1つにまとまり、行事で見た団結力・底力、パワーはさすが3年生さすが赤学年でした。あの全員リレーの大歓声や駐車場で高らかに歌った学年合唱のあなたへは、今でもこの耳にこの心に残っています。私達教員はいつも教えているようで、実はこの1年間は、生徒の頑張る姿、粘り強く立ち向かう姿をみて、私達教員が生徒から元気や勇気をもらい、「できないことを嘆くより、今できることを精一杯やろう」と教えられ、前を向いた1年間でした。皆さんに感謝しています。

